# アガペワールド

London
Keiko C Holmes
35 Leyburn Gardens
CR0 5NL London
E: agape.kingdom@gmail.com
Tel: +44(0)20 8686-4263
New：　Agapeworldreconciliation.org

日本
小菅啓子
横浜市南区中村町５−３０８−１２
E:victory8068@gmail.com
Tel: 090-1266-3390
www.agapeworld.org.jp

アガペワールドを支えてくださる皆様

2018年の年の瀬も迫り、主イエス・キリストの降誕を祝うクリスマスは週明けに、そしてすぐ2019年が幕開けします。皆様お元気で新年をお迎えください。

長年ロンドン、アガペワールドの理事長を勤めたジェフ・ラーコム氏は健康上の理由から理事長を辞任しました。幸い、理事の役割は担当しています。ジェフと奥様のディーはwarden (世話人, 管理人）付の住宅に引っ越しました。新会長のポール・ダキン医師とのインタビュー記事は４ページに載っています。

私にとっては、元捕虜関係者の訪問、事務、また英語の回想録執筆で忙しい一年でした。英語で書くことは、大変難しい仕事ですが、友人が英文を訂正してくれたり、激励もしてくれます。
５月に訪日し、大学や各教会で講演。アガペ関係者や新しく巡り会えた方々と交流を楽しみました。また今回、天皇陛下より「旭日双光章」をみなさんを代表していただきました。皇居で天皇陛下と謁見し、陛下のお元気な笑顔が拝見できました。

100歳を迎え、さらに元気はつらつなジョージ・レイノルズ氏の誕生日祝いは、ウェールズで開催されました。奈良から駆けつけてくれた高橋裕子医師とともに、ダニーと私の3人がアガペワールドから参加。台湾FEPOWの家族のほか、多くの明るい人々との出会いがありました。この様子を伝える8月7日付の地元紙の記事はAgape Worldの英語版サイトに掲載。

素晴らしい信仰の道を歩まれたビル・マンディー牧師が１１月に召天。あいにく、姪と一緒に海外にいたので、葬儀に出席できませんでした。ビルの生涯への感謝と残された家族のために祈りを捧げます。

熊野市の入鹿銅山で捕虜生活を強いられた「イルカボーイズ」の最後の生き残りジョン・クレイグ氏もついに召され、素晴らしい世界、天国に旅立ちました。ジョアン夫人のために、引き続き祈りたいと思います。

退役軍人のためにチャールズ２世がロンドンの高級住宅地チェルシーに設立した、ロイヤル・ホスピタル・チェルシー（チェルシー王立病院）で静かに暮らしていたダグ・ハスオール氏も昨年１０月に100歳の誕生日を迎えた後、２週間ほどで逝去。温厚なイギリス紳士で、施設の誰からも愛されていた彼が天に旅立つ数日前に、私と浩子さんとで訪問できました。このニュースレターに登場するおじいちゃんたちは、すべて素晴らしい英国紳士です。

「Hell Island to Hay Fever」という題名の興味深い本を今月出版したDr.ビル・フランクランド氏（ロンドン在住）。出版記念のレセプションでは、106歳の高齢となったビルに対して、「長生きの秘訣は？」との質問が続出。その答えは「子供の時から父親に、人を憎んではいけない、と言い聞かされて育った。捕虜当時は死ぬ

ほどの経験を何度もしたが、今日まで元気に生かされた。それは、憎しみを持たず、過去に囚われない自由な生き方ができているからだと信じている」ーー。

## 日本訪問（2020年10月27日～11月12日）計画予定

2020年の「心の癒しと和解の旅」の計画を次のように立てました。旅の詳細や参加を希望者する元捕虜関係者との連絡などは、当面の間、晴恵さんが担当してくださいます。私はしばらくは英文の回想録執筆に専念します。恵子記

**10月**

27日（火）　ヒースロー空港出発
28日（水）　羽田空港到着, 長崎へ乗り継ぎ
29日（木）　香焼メモリアル礼拝,　100万ドルの夜景
30日（金）　平和公園, グラバー庭園, 日本二十六聖人記念館
31日（土）　平戸三泊。二泊はホスト・ファミリー

**11月**

1日（日）　平戸
2日（月）　平戸
3日（火）　京都（午後到着）
4日（水）　京都
5日（木）　熊野　（午後5.30到着）
6日（金）　紀和鉱山資料館, 瀞峡
7日（土）　追悼式,　熊野の人々とランチ
8日（日）　教会でのサービス？, みかん狩り
9日（月）　東京へ移動
10日（火）　慶応大学？
11日（水）　英国大使館？
12日（木）　東京出発, ヒースロー到着（同日）

瀞峡：三重県熊野市

旅行の経費は約4,000ポンドです。これには、往復の航空券,　ホテル宿泊料金（15泊）、食事代（朝食、夕食）、鉄道・貸し切りバス料金が含まれています。

# カバルリー・アンド・ガーズ・クラブでのアフタヌーンティー　&
# 日本大使館での和解関係者のリセプション
# ポール・ダキン

6`月18日はアガペワールドの支援者にとっては胸をわくわくさせるような日でした。60人を超える人達が、セントジェームスパーク沿いにある、有名なカバルリー・アンド・ガーズ・クラブ に集まりました。そして、清々しい陽光の差す夏の午後のひと時、紅茶とスコーンを頂きながら、威信ある建物の醸し出す豪華な雰囲気を味わいました。

夕方には、日本大使館があるピカデリー通りを少し歩き、鶴岡大使と大使夫人に温かく迎えられました。旧交を温める人達や同伴の家族も加わったので、当初予定の参加者を上回る240人程が参加しました。大きなホールは人々の笑い声や会話で溢れ、ウエイターやウエイトレスはシャンパンや伝統的な和食を提供してくれました。

記念写真の撮影中に、鶴岡大使が恵子ホームズとアガペワールドの役割を賞賛するスピーチを始めました。日英和解に果たした役割を称えた後、恵子ホームズが今年、東京で天皇陛下から旭日双光章を賜ったことをお祝いするための乾杯を提案しました。大使は、エリザベス女王が恵子ホームズにOBEの称号を授けられたのは、天皇陛下がこれに倣われた実に20年も前のことだと冗談交じりに言及されました。恵子ホームズは短く感銘深いあいさつをして大使に感謝の辞を述べ、また尊い救い主イエス・キリストに感謝しました。

鶴岡大使公邸にて。大使ご夫妻と理事メンバー

理事一同はその後、恵子ホームズが天皇陛下から賜った栄誉を祝うため、大使公邸でのプライベートの夕食に招待されました。大使館の公用車で、レセプション会場を後にし、大使公邸に到着。一足先に着かれていた鶴岡大使と大使夫人に迎えられました。美しく歴史的な工芸品を所蔵する公邸を短時間参観した後、豪華な食事のコースが振舞われました。大使付きシェフが特別に選んだ品々でした。

この日の午後と夕方のレセプションは、アガペワールドが果たしてきた素晴らしい役割を記念するものでした。来年の和解のためのレセプションにも多くの人達が参加して、日英両国の親善と友好が継続することを期待しています。

最後に、次回の和解の旅は2020年の秋まで先延ばしとなりました。がっかりする方もおられるかも知れませんが、当初の予定日程では、9月～11月に日本全国で実施されるラグビー・ワールド杯と重なってしまうのです。すでに京都ではホテル不足が顕著だったほか、民泊エアビーアンドビーの事実上の禁止もあります。W杯の開催期間中は混雑を極め、国内の移動も難しいと予想されるので、止むを得ず、和解の旅の延期を決めたのです。

# ドクター・ポール・ダキン新会長とのインタビュー

## １　アガペワールドと係わり合いを持つようになったきっかけをお聞かせください。

ある医学雑誌に掲載された、和解の旅の付き添いとして同行する医師を募る恵子さんのアピールに応答したのがきっかけです。2006年に渡航したので、その何年か前に連絡を取ったと思います。英国で異文化間の交流に携わっている人々に興味を持っていたことも重なりました。

## 2. ご家族の中にFEPOW はいるのですか？

はい。英国空軍に所属していた叔父が、マラヤとジャワへ配置されました。日本軍の捕虜となり、シンガポールのチャンギ収容所で数年間過ごしました。亡くなる直前にシンガポールを再訪し、どんなに苦しい経験だったかを叔父は妻に話すことが出来ました。

## ３．アガペワールドの理事の会長になる前に は、何をされていたのですか？

2年前までは、ロンドン北部で総合診察医（GP）の仕事をしながら、医学部の学生や大院生の指導をしていました。退職後は、幾つかの慈善事業や団体に関与しています。定期的にジムへ行って運動をし、原稿を書き、孫の面倒を見る手伝いをしています。

## ４．ご家族についてお教えてください。

妻のジーンと結婚して40年になります。彼女は聴覚障害が進み、最近では強力な補聴器を使っても聞き取りづらくなっています。私達には３人の子供がいます。娘は２人とも教師ですが、結婚していて、子供は２人ずつ。息子はテレビのプロデューサー。（家族の中で３人目となる）教師と結婚しています。みな近くに住んでおり、２人の娘は隣村です。だから、妻はよく孫の面倒を見ているので、私も手伝います。大変楽しいですが、疲れますね。

## 5.　アガペワールドの将来についてどう思われますか？

恵子さんはアガペワールドを通して多くのことを成し遂げられました。多くの人達が彼女に会って日本への和解の旅に参加した結果、彼等の人生が変わりました。ただ、FEPOWの生存者がほとんどいなくなった現在、FEPOWの家族の次の世代のために何をするのが良いのかを考えなければなりません。また、和解に対するアプローチを拡大して、新しい人達に参加してもらうかどうかも検討する必要があるでしょう。恵子さんとアガペワールドが将来も価値のある活動を展開し続けるだろう、ということを私は確信しています。

**ありがとうございました。**

**読者の皆さんの2019年が、充実した喜びの多い年でありますように。**

**理事一同**